

令和3年度 学校経営方針

<目指す学校像・職員像>

「生徒に自信をつける」

生徒・職員・保護者・地域住民が誇れる

「二中プライド」を確立する

<学校教育目標・目指す生徒像>

- 自ら考え正しく判断し、積極的に実践する人間
- 明るく健康で、情操の豊かな人間
- 社会の一員として、協力し、向上に努める人間
- 相手の人格や立場を尊重する人間

コミュニティ・スクールとしての学校経営

令和元年度に学校経営協議会を置く学校として再出発し、今年度は3年目を迎える。昨年度は地域・保護者が作成した手作りのコサージュを胸に第64回卒業式を挙行するなど、放課後学習教室をはじめ、地域との連携を充実させた。今後はさらに関係小学校とともに、地域や保護者のニーズに迅速に的確に対応し、学校だけでは解決できない諸課題には、学校経営協議会と連携を図りながら、関係機関とともに解決していく学校経営を実践する。

小平市内で初の試みである小中連携型の学校経営協議会の在り方やその効果を検証し、関係小学校との連携を密に図ることで、二中学区の小・中学校が地域コミュニティの中心となり、地域住民や保護者が安心して子どもを任せられることができる学校、9年間を見通した教育活動を実践していく。

<学校経営の基本的な理念 「和 輪 話」>

学校経営の目的は、一言でいえば教育目標の達成である。「教育は人なり」と言われるように学校の教育活動の成果をあげるためには、全教職員の組織を通しての協力が必要であり、何をするにも「人の和を図る。」ことが大切である。教育はチーム力であり、学校が安定し、まとまって動くには人間関係の円滑な運営に優るものはない。同じ職場に巡り会ったこの出会いを大切に、明るく楽しい、しかも意欲と活気に満ちた学校にしたい。そのために、お互いの良さを認め合い、温かく補い合って組織体の一員としての機能を十分に発揮できるようにする。仕事の厳しさの中にも協力的な温かい人間関係をつくっていくよう全職員で意識し些細なことから実行していく。

教育目標達成のための9つの取組

令和3年度学校経営の柱

- 1 新型コロナウイルス感染防止
- 2 「二中プライド」の確立
- 3 中学区型CSの創造
- 4 新GYによる授業改善
- 5 働き方改革の推進

【1】心身の健康の推進

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策
- ② 「二中プライド」の醸成

【2】授業改善

- ① 時間を大切にする
- ② 4人組の活動の充実
- ③ 「はい。立つ。です。」
- ④ 見通しをもたせる

【3】生活指導

- ① 生徒理解と指導の徹底
- ② 生徒会と部活動の両輪
- ③ 保護者との連携
- ④ 朝読書の時間の充実

【4】進路指導

- ① 進学指導の充実
- ② 年間2回の三者面談
- ③ 生徒一人ひとりの
生き方指導

【5】地域& 小中連携教育

- ① 学校支援CDの活用
- ② 小中連携型CSへ
- ③ 地域人材・地域資源

【6】環境整備と防災教育

- ① 月1回の施設点検の実施

【7】校内研修

- ① 全員の研究授業の実施
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現
- ③ 一人一台PCの活用
(GIGAスクール構想の実現)

【8】特別支援教育

- ① 校内委員会の充実
- ② 特別支援教育の視点
- ③ A組からG組までの
職員の連携推進

【9】学校事務

- ① 校内予算の適切な執行
- ② 光熱費等の節約
- ③ 学校環境の整備
- ④ 私費会計の管理